

特別上映

■特別料金 1,500円均一 ※各種割引は適用外。名画座回数券は使用不可

<p>8/17 (金)</p> <p>8/18 (土)</p> <p>2本立て</p>	<p>「肉」(16mm版上映) (1965年/国映/白黒/81分)</p> <p>監督:向井寛 出演:内田高子/飛鳥公子/藤井貢</p> <p>〈獅子プロダクション〉を主宰し、滝田洋二郎、佐藤寿保、瀬々敬久、いまおかしんじら多数の監督を輩出した向井寛監督のデビュー作。後に結婚する内田高子との出会いとなった記念すべき作品で、彼女の初々しき魅力がたっぷり詰まっています。貴重な16mmを発掘しての奇跡の再上映!!</p> <p>© 国映</p>	<p>「女王蜂の欲情」(16mm版上映) (1966年/大蔵/白黒/74分)</p> <p>監督:小川欽也 脚本:前原昭児 撮影:岩橋秀光 出演:内田高子/美矢かほる/鶴岡八郎/森公/大原百代/清水世津/曾根成男</p> <p>ピンク映画第一号『肉体の市場』で助監督を務め、65年『妾』で監督デビュー。以降、500本以上の作品を手掛け現在も新作を撮り続ける大ベテラン・小川欽也監督の初期作。内田高子が売れっ子ファッション・モデルに扮し、グラマラスな肢体を惜しげもなく披露するサスペンス。</p> <p>© オービー映画</p>
---	---	---

♥ 8/18(土) 内田高子さん、小川欽也監督、鈴木義昭さん (ルポライター) によるトークショーあり

<p>8/31 (金)</p> <p>9/1 (土)</p> <p>2本立て</p>	<p>「灼熱の暴行」(16mm短縮版上映) (1968年/パートカラー/50分)</p> <p>監督・脚本:木俣堯喬 撮影:杉田正二 出演:星冴子/美矢かほる/港雄一/鶴岡八郎/金田洋/渡正夫/島田一郎</p> <p>『相棒』シリーズで知られる和泉聖治監督の実父であり、〈プロダクション鷹〉を率いて黎明期からピンク映画を量産した木俣堯喬監督。南海の孤島に漂着した男女が異常な状況下で展開する色と欲との人間模様。プロ鷹4周年を記念し、八丈島小笠原黒潮園にてロケを慎行して製作された。</p>	<p>「女湯・女湯・女湯」(16mm版上映) (1970年/パートカラー/77分)</p> <p>監督:山本晋也 脚本:太田康 撮影:笹野修司 出演:松浦康/野上正義/白川和子/久保新二/小島マリ/一星ケミ/沢嶌勝朗</p> <p>「カントク」の愛称でお茶の間で馴染みとなった山本晋也監督。「痴漢」「女湯」「未亡人下宿」などの人気シリーズを次々と生み出し、喜劇ポルノの第一人者として活躍した功績は大きい。「女湯」シリーズ3作目で、三島の銭湯を舞台に繰り広げる人情たっぷりのセックス喜劇。</p>
--	--	---



内田高子さん (初代「ネグリジェ歌手」と言われた時代)
小川欽也監督 (「禁じられた乳房」(1966)撮影風景)

8/18(土) 内田高子さん、小川欽也監督、鈴木義昭さん (ルポライター) によるトークショー!!

19:30 ~ 20:51 『肉』上映 (81分)
20:55 ~ 21:35 トークショー
21:40 ~ 22:54 『女王蜂の欲情』上映 (74分)
※通常より開映が早まります。ご注意ください。

7/28(土)より前売券発売開始!

- チケットぴあリザーブシート (指定席) ¥1700
- 劇場窓口販売自由席前売券 ¥1300
- ◎当日券 ¥1,500均一
- ※各種割引は適用外。名画座回数券は使用不可。

9/29(土) Start! PINK FILM CHRONICLE 1962-2012 ◆番外編◆ 日活ロマンポルノセレクション ※詳細は決定次第告知致します。

♥ PINK FILM CHRONICLE 期間中、レディースシートを設置致します。(席数に限りがございます)

料金・回数券のご案内		■お得な回数券のご案内■	
一般・学生	1,300円	数多くご覧のお客様、ギフトにも最適! チケット窓口にて販売中	名画座専用回数券 【5回券】:5,000円 (有効期限:お求めから3ヶ月)
シニア	1,000円		
水曜女性	1,000円		
2本立ての最終回	1本800円		

三原橋 得情報
映画を見る日はお得な特典がいっぱい!
三原橋地下商店街各店で銀座シネパトスの当日のチケット半券をご提示していただくと、各店舗でさまざまな特典があります。
※ご鑑賞後のチケットでもご利用になれます。
※前売り券は窓口にて、当日券に交換してください。



© 国映「肉」

〈ピンク映画50周年記念特集〉

PINK FILM CHRONICLE 1962-2012 Part2



— 午後 8 時の映画祭 —

2012年 7月20日(金) ~ 9月9日(月)

連日夜8時15分より2本立レイトショー
8/18(土)のみ夜7時30分より ※18歳未満はご入場できません



<ピンク映画 50周年記念特集>

PINK FILM CHRONICLE 1962-2012 PART2

— 午後8時の映画祭 —

連日夜8時 15分より2本立 レイトショー (2本連続上映)

※ 8/18(土)のみ夜7時30分より

7/20(金) ~ 7/23(月) 2本立て 「荒野のダッチワイフ」 (1967年/国映/パートカラー/85分)

監督・脚本:大和屋竺 撮影:甲斐一 音楽:山下洋輔 出演:港雄一/山本昌平/渡みき/辰巳典子/磨赤児/大久保鷹



© 国映

ヤクザに女をさらわれた男が、殺し屋に救出を依頼する。彼もまたヤクザ一味に恋人を殺された過去を持っていた。一味を倒すうち、現実と妄想が交錯する…。鬼才・大和屋竺監督のめくるめくる不条理世界が展開する伝説的ハードボイルドの傑作。

「ニュージャック&ベティ モダン夫婦生活讀本」 (デジタル上映) (1969年/国映/パートカラー/72分)

監督:沖島勲 脚本:出口出 撮影:伊東英男 出演:香取環/加藤町子/矢島宏志/津崎公平



© 国映

若松プロに参加し、後に「まんが日本昔ばなし」のメインシナリオライターを務めていた沖島勲監督のデビュー作。結婚を目前に控えた二組の夫婦が、別荘で大乱交に発展するというユニークな家族劇。主演は初代ピンク映画の女王・香取環。

7/24(火) ~ 7/27(金) 2本立て 「ビニール本の女 密写全裸」(デジタル上映) (1981年/新東宝/カラー/60分)

監督:福岡芳穂 脚本:西岡琢也 撮影:長田勇市 出演:香川留美/豪田路世留/杉枝代子/沢田多絵/下元史朗/三津久/上野淳



© 新東宝映画

若松孝二、高橋伴明に師事した助監督たちが結成した製作集団(ユニット5)(磯村一路、福岡芳穂、水谷俊之、米田彰、周防正行)の一員で、スタイリッシュな作品群で評価を得た福岡監督の長編デビュー作。暗い陰を持つ姉妹が殺人事件に巻き込まれるサスペンス。

「女子大生 教師の前で」(デジタル上映) (1983年/新東宝/カラー/57分)

監督:水谷俊之 脚本:磯村一路 撮影:坂真一毅 出演:山本さゆり/美野真琴/田口ゆかり/大杉漣/山口良一/森林太郎



© 新東宝映画

〈ユニット5〉の一員で、デビューした82年の第2作『視姦白日夢』で ZOOM-UP 映画祭作品賞・新人監督賞を受賞するなど注目を集めた水谷俊之監督。覗き部屋でアルバイトする女子大生の日常を、男女のセックス描写が一切無しという実験的なスタイルで描き出した佳品。

7/28(土) ~ 7/31(火) 2本立て 「ゆけゆけマイトガイ 性春の悶々」 (1975年/ヒューマックス/カラー/66分)

監督・脚本:井筒和生(和幸) 脚本:上田賢一郎 出演:三上寛/絵沢萌子/茜ゆう子/末永博嗣/橋ルミ/工藤朗子



© ヒューマックスコミュニケーションズ

『ガキ帝国』(80年)、『パッチギ!』(04年)など熱き青春映画の傑作を生み出した井筒和幸監督が、自主制作で完成させ配給会社へ売り込んだという記念すべきデビュー作。フォーク歌手の三上寛、人気女優の絵沢萌子、茜ゆう子らを起用し初々しい青春エロスを展開。

「神田川淫乱戦争」 (1983年/ヒューマックス/カラー/61分)

監督・脚本:黒沢清 撮影:瓜生敏彦 出演:麻生うさぎ/美野真琴/岸野萌圓(雄一)/森太津也(達也)



© ヒューマックスコミュニケーションズ

神田川沿いのアパートとマンションでOLと女子大生が過保護な母親に育てられる受験生の救出に奮闘する。黒沢清監督初の商業映画で唯一のピンク作となったコメディ。ドキュメンタリー作家・森達也、ミュージシャン・岸野雄一ら異色のキャストも見もの。

8/1(水) ~ 8/4(土) 2本立て 「ねらわれた学園 制服を襲う」 (『ねらわれた学園 制服に欲情』に改題) (1986年/新東宝/カラー/60分)

監督:渡辺(渡邊)元嗣 脚本:平柳益実 撮影:倉本和人 出演:橋本杏子/田口あゆみ/清川鮎/螢雪次朗/池島ゆたか



© 新東宝映画

親の仇を討つため養成ギプスで鍛えられた「名器」を武器に戦いに挑む少女を描く。「スケアン刑事」へのオマージュたっぷり、効果音やカメラワークまでもそのままの遊び心いっぱいのパロディ・ピンク。コメディ、メルヘン得意とする渡邊元嗣監督の初期代表作。

「緊縛・SM・18才」 (『SMクレーン宙吊り』に改題) (1986年/国映/カラー/60分)

監督・脚本:片岡修二 撮影:志村敏夫 出演:早乙女宏美/杉下なおみ/清川鮎/下元史朗/池島ゆたか



© 国映

不良少女に片目を潰され、SMクラブで一流の調教師「地獄のローパー」へ変貌した主人公の復讐を描いたナンセンス・コメディ『逆さ吊し縛り縄』(85年)の続編で、二人の死闘はスケールアップし、クレーン吊りにまで発展。近年海外映画祭でも評価が高まる快作。

8/5(日) ~ 8/8(水) 2本立て 「ブルーエクスタシー ザ・過激」 (1986年/ヒューマックス/カラー/59分)

監督・脚本:高原秀和 撮影:佐々木原保志 出演:木築沙絵子/稲葉政文/岡田きよみ/皆川崇/岩下由美



© ヒューマックスコミュニケーションズ

本当の愛、本物の夢がない男たちが、屈託のない女の子と出会い自分を取り戻して行く中、やがて悲劇的な結末が…。映画、OV、ミュージックビデオなど多方面で活躍する高原秀和監督の瑞々しく洗練されたタッチが光る。主演はロマンポルノでも人気を博した木築沙絵子。

「緊縛 鞭とハイヒール」 (『緊縛ハイヒールの女王』に改題) (1986年/新東宝/カラー/62分)

監督・脚本:北川徹(磯村一路) 撮影:長田勇市 出演:竹村祐佳/牧村耕治/早乙女宏美/田口あゆみ/彰佳響子



© 新東宝映画

『がんばっていきまっしょい』(98年)、『瞬 またたき』(10年)など丁寧な人間描写で定評のある磯村一路監督が、女性の脚に魅入られ墮落してゆく男のフェティシズム、マゾヒズムといった倒錯の性を情感たっぷりに格調高い作品として描き上げた佳作。

8/9(木) ~ 8/12(日) 2本立て 「超アブノーマルSEX 変態まみれ」 (1993年/新東宝/カラー/54分)

監督:安藤尋 脚本:加藤正人 音楽:ジョン・ゾーン 出演:石原ゆり/仲野茂/八萩純/森山美麗/佐野和宏



© 新東宝映画

『blue』(02年)、『僕は妹に恋をする』(06年)などの青春映画の傑作で評価された安藤尋監督のデビュー作。謎めいた過去を持つカメラマンが投降写真の女に虜になり愛欲に溺れてゆく。アナーキーの仲野茂が俳優に初挑戦し、墮ちてゆく男の悲哀を体現している。

「秘 性犯罪 女銀行員・集団レイプ」 (『美人銀行員を狙え! 異常レイプ』に改題) (1999年/Xces/カラー/60分)

監督:坂本太 脚本:有馬千世 撮影:創儀和 出演:平沙織/竹本泰志/吉田祐健/久須美欽一/永森シーナ



© 新日本映像

1993年に監督デビューし、エンタテインメント性とハードなセックス描写の融合で約50本の作品を手掛けた坂本太監督。2012年6月18日、50歳の若さで世界した監督を偲び、凶悪な強盗に襲われた銀行を舞台にしたスリリングな密室犯罪劇として仕上がった本作を上映。

1962年、小林悟監督『肉体の市場』(大蔵映画配給)が猥褻容疑で警視庁に摘発される。以後、独立系会社による低予算の成人向け映画がくピンク映画)と称され、斜陽にあった日本映画界を立て直す大きな産業として急成長する。そして、反社会、反体制といったメッセージ性を掲げた若松孝二のアヴァンギャルドな作品群を筆頭に、若者からの熱情的な支持を集め、メジャーの日本映画とは違ったパワーと魅力で映画的な評価も高まる。渡辺護、中村幻児、高橋伴明、井筒和幸、滝田洋二郎、廣木隆一、黒沢清、周防正行、瀬々敬久、いまおかしんじなどが監督デビューし、若手作家が巣立つ場所としても、大きな役割を担う。また、白川和子、宮下順子、大杉漣など、ピンク映画を起点として成長を遂げた俳優も少なくない。製作本数、専門館は減少の一途をたどり、現在のピンク映画が末期的な状況であることは否めないが、日本映画に唯一残されたプログラム・ピクチャーとして、作家性、娯楽性に富んだ良質な作品が生み出されていることは不変である。ピンク映画半世紀の歴史は、紛れもなく日本映画を活性化させた重要な存在であり、ポルノというブランドに隠された「もう一つの日本映画史」である。今や観ることが困難な貴重な旧作を含め、バラエティに富んだピンク映画の歴史と魅力を辿る特集上映を長期に渡り開催します。

8/13(月) ~ 8/16(木) 2本立て 「豊丸の変態クリニック」 (1988年/Xces/カラー/60分)

監督:浜野佐知 脚本:山崎邦紀 撮影:稲吉雅志 出演:豊丸/栗原早記/平口広美/日比野達郎/平賀勘一



© 新日本映像

300本以上のピンク映画を発表し、近年では『百合子、ダスヴィダーニヤ』(11年)などの一般作で同性からの支持を集める女性監督・浜野佐知。「淫乱系」というジャンルを築いた人気AV女優・豊丸、栗原早記を起用し、浜野監督が掲げる「女性の性の解放」を追求したハード・エロス。

「ニッポンの猥褻」 (『ニッポンの猥褻 好色一代記』に改題) (1993年/新東宝/カラー/57分)

監督:深町章 脚本:瀬々敬久 撮影:稲吉雅志 出演:久保新二/橋本杏子/石川恵美/岸加奈子/林由美香/清水大敬



© 新東宝映画

監督生活40周年を迎え、2011年度ピンク大賞で特別賞を受賞した深町章=稲尾実監督、新東宝映画30周年記念として、当時の人気女優が顔を揃えた本作は、濃密なエロスとユーモアあふれる娯楽性に富み、ピンク映画の王道を築き上げたまさに深町監督の集大成。

8/19(日) ~ 8/22(水) 2本立て 「思いはあなただけ I Thought About You」 (1997年/ケイムビー/カラー/60分)

監督・脚本:北沢幸雄 撮影:鈴木一博 出演:川瀬陽太/下川オサム/佐々木共輔/真央はじめ/熊孝文



© ケイムビー

とある依頼をきっかけに、三人の男たちの愛憎、そして過去の因縁が交錯する…。ウェルメイドな良質ピンクを撮り続けてきた北沢幸雄監督が、友情を超えた男の愛を美しく切なく描きあげた傑作。ゲイ・ポルノ史上初めてピンク大賞作品賞に選出された。

「姉妹どんぶり 抜かずに中で」 (1997年/オービー/カラー/60分)

監督:吉行由実 脚本:五代暎子 撮影:小西泰正 出演:貴奈子/畠山たくみ/石川雄也/吉行由実/神無月蘭



© オービー映画

『D坂の殺人事件』(98年)でヨコハマ映画祭助演女優賞を受賞するなど女優として評価を高め、女性ならではの感性で愛と性を描いた監督作でも注目される吉行由実監督の代表作。「恋人」「男友達」のトライアングルにゆれる女性心理をキュートに包み込んだガールズ・ムービー。

8/23(木) ~ 8/26(日) 2本立て 「ぐしょ濡れ美容師 すけば下半身」 (1998年/新東宝/カラー/65分)

監督・脚本:女池充 プロデューサー:岩田治樹 撮影:長田勇市 出演:佐々木ユメカ/田中要次/川瀬陽太/相沢知美/田嶋謙一



© 新東宝映画

酔った勢いで肉関係を持った男女。火事になったホテルで彼らを救出した消防士。そんな三人の繰り成す奇妙なトライアングル。四天王の次世代〈ピンク七福神〉の女池充監督作による爽快感あふれるラブ・コメディ。ブレイク前の田中要次が消防士役を好演。

「あぶない情事 獣のしたたり」 (1998年/国映/カラー/65分)

監督:鎌田義孝 脚本:白野朗(瀬々敬久) 撮影:小西泰正 出演:伊藤猛/鹿島春海/佐々木麻由子/飯島大介/澤山雄次



© 国映

現金輸送車を襲った三人の男達。生き延びた男、その恋人、出所した仲間、謎の少女、それぞれの欲にまみれた愛憎が交錯する。瀬々敬久の脚本を〈ピンク七福神〉の鎌田義孝監督が硬質な作品に仕上げた緊迫感あふれるサスペンス。人気熟女優・佐々木麻由子のピンク映画初主演作。

8/27(月) ~ 8/30(木) 2本立て 「18才 下着の中のうずき」 (2001年/国映/カラー/65分)

監督:坂本礼 脚本:井土紀州 撮影:鏡早智 音楽:安川午朗 出演:笹原りな/川瀬陽太/工藤あきら/山崎暁/鈴木あつ子



© 国映

絶望を乗り越えて生きる希望を抱く男女の姿を、2001年1月1日の「世紀越え」という瞬間にカメラを回し、新たな時代へのメッセージを投げかけた、ピンク七福神最若手の坂本礼監督による青春映画の秀作。脚本は『ラザロ LAZARUS』(07年)などの映像作家・井土紀州。

「痴漢電車 さわってビックリ!」 (2001年/新東宝/カラー/63分)

監督:榎本敏郎 脚本:河本晃 撮影:中尾正人 出演:麻田真夕/川瀬陽太/葉月螢/佐野和宏/あ子/鈴木敦子



© 新東宝映画

平凡なサラリーマンがひょんなことからスリで生計を立てる女と出会い、彼女との恋にゆれる姿を瑞々しく描きだしたスクリーン・コメディ。佐藤寿保、瀬々敬久らに師事してきた〈ピンク七福神〉の榎本敏郎監督作。麻田真夕、川瀬陽太ら若手俳優陣が生き生きと好演。

9/2(日) ~ 9/5(水) 2本立て 「悩殺天使 吸い尽くして」 (2003年/オービー/カラー/60分)

監督:国沢実 脚本:榎原辰郎 撮影:長谷川卓也 出演:橘瑠璃/宮沢けい/麻木涼子/久保隆/小林達雄/THUNDER杉山



© オービー映画

謎のパワーを秘めた平凡な若妻と、セックスのエネルギーを物理的な力に変換できる力で世界征服を企む〈クセパー〉の善悪の戦いを描いたサイキック・アクション。〈大蔵ヌーヴェルヴァーグ〉として注目された国沢実監督がSFと女達のバトルを痛快に見せつける。

「美女濡れ酒場」 (2002年/オービー/カラー/60分)

監督・脚本:榎原辰郎 撮影:長谷川卓也 出演:若宮美咲/間宮結/山咲小春/竹本泰志/大出勉/野上正義



© オービー映画

とあるバーを舞台に、自殺を試みたバーテンダー、謎の美人歌手らの人間模様をファンタジックに謳いあげ、静かな感動を誘う。国沢監督のタグを続けてきた脚本家・榎原辰郎の初監督作にして、2002年ピンク大賞作品賞ほか全7部門を受賞という高い評価を受けた傑作。

9/6(木) ~ 9/9(日) 2本立て 「癒しの遊女 濡れ舌の蜜」 (2010年/オービー/カラー/60分)

監督・脚本:荒木太郎 撮影:照明:飯岡聖英 出演:早乙女ルイ/里見瑠子/佐々木基子/那波隆史/荒木太郎



© オービー映画

俳優、助監督を経て監督デビューを果たし、〈大蔵ヌーヴェルヴァーグ〉の旗手として様々な映画表現に果敢に挑む荒木太郎監督が、永井荷風『濃東綺譚』を見事に映像化。2010年夏に移転し、59年の歴史に幕を閉じた旧・上野オークラ劇場ロケによるノスタルジックな映像も見どころ。

「超いらんやればやるほどいい気持ち」 (2008年/新東宝/カラー/62分)

監督:池島ゆたか 脚本:後藤大輔 撮影:清水正二 音楽:大場一魁 出演:牧村耕次/千葉尚之/倅田李梨/青山えりな/日高ゆりあ



© 新東宝映画

俳優デビューからピンク映画生活30周年を迎え、エンタテインメント性あふれる作品づくりで定評のある池島ゆたか監督101本記念作品として企画され、老映画監督を主人公に、ピンク版『8 1/2』ともいえる映画愛あふれる感動作に仕上げた。2008年ピンク大賞作品賞ほか全7部門を受賞。